

第3次玉名市男女共同参画計画に掲げる指標達成実施状況報告

【令和4年度】(5年目)

No.	項目	現況 (最新)	最終年 度(R4 年度)目 標	R4年度の実施状況	自己評価	担当課
1	市における審議会等への女性委員の登用目標	25.5% (R4)	35%	令和4年度の女性登用年次計画に基づき、すべての審議会ごとに具体的な取組み目標を掲げている。全庁的に女性委員の登用を積極的に促進するよう委員選定の段階から具体的手法を示すほか、女性登用の利点などを説明し、登用率向上に努めた。市全体で女性委員登用について更なる意識の向上と、登用率向上への仕組みを確立することが必要である。	× 達成できなかった	人権啓発課
2	市女性職員の管理職登用	5.9% (R4年度 当初値)	15%	令和4年度の女性管理職は3名。管理職の女性登用率は、昨年度と比較し同数であった。管理監督者(係長級以上)の登用率は目標値を達成し年々上昇している。今後も引き続き女性職員の意欲向上に努める。	× 達成できなかった	総務課
3	夫婦による申請及び女性だけの申請による女性認定農業者数	287人 (R4)	206人	単年の数値目標は達成できなかったものの、当初の最終目標値については、大幅に達成できた。また、夫婦での連盟申請から家族経営協定を締結し、女性が認定農業者となることで、女性の地位を確立し、男女共同参画の推進に努めた。	◎ 達成できた	農林水産政策課
4	「男女共同参画社会基本法」の認知度	27.2% (R3)	60%	啓発講座開催時に「男女共同参画社会基本法」について説明を行った。また、情報発信は重要であることから、広報・ホームページで啓発を図った。「男女共同参画基本法」の認知度の向上は、人権意識の醸成も踏まえ、今後も継続して、周知の強化と啓発に努める。(H29 16.6%)	× 達成できなかった	人権啓発課
5	市の女性囑託員数 (区長)	7人 (R4)	10人	目標値に達するまでには至っていないものの、女性の区長数は着実に増加している。	× 達成できなかった	総務課
6	固定的性別役割分担意識に同感しない市民の割合	77.2% (R3)	持続的に増加させる	固定的性別役割分担意識解消に向け、講座のテーマとして企画し、周知・啓発を行った。また、市民向け講演会では潜在的な固定的性別役割分担意識解消について啓発した。併せて、広報紙・ホームページで男女共同参画計画に関する基礎的内容を踏まえ幅広く市民に周知した。今後も多様化・複雑化する社会情勢に合わせた啓発と、各年代に応じた啓発の手法を工夫し、継続的に意識改革を行っていく。(H29 66.8%)	○ 概ね達成できた	人権啓発課

No.	項目	現況 (最新)	最終年 度 (R4 年度) 目標	R4 年度の実施状況	自己評価	担当課
7	「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度	24.1% (R3)	50%	「ワーク・ライフ・バランス」の実現のため、国の取組や関係法令・制度等を広報及びホームページで、市民や事業所等に広く周知・啓発を行った。今後も、女性活躍推進に伴い働き方改革や家庭における意識改革を促進しながら、加速的に変化する社会情勢を的確に把握し、周知・啓発を継続的に行っていく。(H29 24.0%)	× 達成できなかった	人権啓発課
8	放課後児童健全育成事業(学童保育)クラブ実施数	19クラブ (R4)	18クラブ	令和4年度は19クラブにて、月平均777人の利用があった。 大野小学校区及び高道小学校区において、定員数の拡大を図るため、施設整備を行った。	◎ 達成できた	子育て支援課
9	レディースがん検診の受診率	乳がん 32% 子宮頸がん 13% (R4)	共に 50.0%	夏集団検診のほかに、冬婦人科集団検診を初実施した。子宮頸がん20歳、乳がん40歳の若い世代は、検診の認知度や意識が低い傾向がある。子宮頸がん対象者には、在学中で住所地以外へ居住しているケースもあり、受診率が乳がん検診に比べ悪い。	× 達成できなかった	保健予防課
10	早期(妊娠11週以下)での妊娠届出率	95.0% (R4)	95.0%	妊娠11週以下での妊娠届出率は95.0%で、目標値に達することができた。 広報・ホームページで妊娠がわかったら早めの届出を勧奨していることや、受診券について周知することにより早期の届出につながっていると思われる。しかし、28週以降の届出妊婦で妊娠に気づけなかったという方もおり、妊娠前からの啓発も必要である。	◎ 達成できた	保健予防課
11	女性消防団員数	14人 (R4)	継続して増員を図る	継続して入隊募集を行っているが、子育て世代が多く、仕事と子育ての両立が難しく、加入に繋がりにくい。	× 達成できなかった	防災安全課